

製品名: カベオリン-1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe21284

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:20kD;Observed MW:20kD

抗原情報

遺伝子名	CAV1
別名	CAV1;CAV;Caveolin-1
遺伝子 ID	857.0
SwissProt ID	Q03135
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

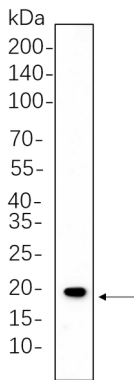
細胞局在: 膜。この遺伝子によってコードされる足場タンパク質は、ほとんどの細胞種に見られるカベオラ細胞膜の主成分である。

このタンパク質は、インテグリンサブユニットをチロシンキナーゼ FYN に連結し、インテグリンを Ras-ERK 経路に結合させ、細胞周期の進行を促進する最初の段階となる。この遺伝子は腫瘍抑制遺伝子候補であり、Ras-p42/44 ミトゲン活性化キナーゼカスケードの負の調節因子である。カベオリン 1 とカベオリン 2 は 7 番染色体上に隣接して位置し、共局在するタンパク質を発現して安定したヘテロオリゴマー複合体を形成する。この遺伝子の変異は、ベラルディネリ・セイプ先天性リポジストロフィーと関連付けられている。選択的スプライシングを受けた転写産物は、カベオリン 1 の α および β アイソフォームをコードする。[RefSeq 提供、2010 年 3 月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜をカベオリン-1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でプロットングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。